

## ■『「わらしべ長者」の経済学』言語活動1 評価の観点

|                                                                        | 評価基準                                                        |                                             |                                                         |
|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 評価規準                                                                   | A【十分満足】                                                     | B【おおむね満足】                                   | C【改善の手立て】                                               |
| <b>1 知識・技能</b>                                                         |                                                             |                                             |                                                         |
| 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。〔(1)オ〕                                 | 頭括型・尾括型・双括型といった文章の型を用いて、自分の考えを明確に述べる能够做到ている。                | 筆者の考えに賛成か反対か、理由の説明と明確に分けて述べる能够做到ている。        | 頭括型の書き方の例を示し、自分の考えと理由を書かせる。                             |
| <b>2 思考・判断・表現</b>                                                      |                                                             |                                             |                                                         |
| 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 | 「わらしべ長者」の男の経済活動に対する筆者の評価を踏まえた上で、本文についての自分の考えを論拠とともに明示できている。 | 「わらしべ長者」の男の経済活動について、自分の考えを適切な論拠とともに明示できている。 | 「わらしべ長者」の主人公の具体的な行動を、筆者がどのように評価しているかを「学習1～3」を踏まえ再確認させる。 |
| <b>3 主体的に学習に取り組む態度</b>                                                 |                                                             |                                             |                                                         |
| 自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って自分の考えをさらに深めようとしている。 | 積極的に自分の考えを文章化し、他者にわかりやすく伝える能够做到ている。                         | 自分の考えを文章化して発表できている。                         | ノートやワークシートをもとに学習課題に取り組ませる。                              |

## ■書く活動 評価の観点（例）

|                                                                        | 評価基準                                           |                                      |                                               |
|------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 評価規準                                                                   | A【十分満足】                                        | B【おおむね満足】                            | C【改善の手立て】                                     |
| <b>1 知識・技能</b>                                                         |                                                |                                      |                                               |
| 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。〔(1)オ〕                                 | 接続語や文章構成を工夫して、自分の考えを効果的に表現する能够做到ている。           | 接続語を適切に用いて、文章を書く能够做到ている。             | 一文が長くなる場合には、主述のねじれなど文構造に注意したり、文をわけたりするよう指導する。 |
| <b>2 思考・判断・表現</b>                                                      |                                                |                                      |                                               |
| 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。〔B(1)イ〕 | 本文の内容にも適切に言及しながら、自分の意見をわかりやすい構成で具体的に書く能够做到ている。 | 本文の内容を参考にしながら、自分の意見を適切な構成で書く能够做到ている。 | ここまでの学習を振り返らせ、本文の内容について再度確認させる。               |
| <b>3 主体的に学習に取り組む態度</b>                                                 |                                                |                                      |                                               |
| 筆者の意見を参考にしながら、積極的に根拠や具体例を用いて文章を構成し、学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。           | 主体性をもって粘り強く考えを整理して学習課題に取り組んでいる。                | 指示に従って学習課題に取り組んでいる。                  | 少ない文字数で、自分の考えをまずは書いてみるよう促す。                   |

■話す・聞く活動 評価の観点（例）

| 評価規準                                                                              | 評価基準                                                     |                                                    |                                |
|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|--------------------------------|
|                                                                                   | A【十分満足】                                                  | B【おおむね満足】                                          | C【改善の手立て】                      |
| <b>1 知識・技能</b>                                                                    |                                                          |                                                    |                                |
| 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。〔(1)イ〕 | 自分の考えが伝わっているかを確かめながら、話し方を変えたり、工夫したりすることができる。             | 自分の考えが伝わるよう、話し方を変えたり、工夫したりすることができる。                | 教科書の「話すトレーニング」の内容を確認させる。       |
| <b>2 思考・判断・表現</b>                                                                 |                                                          |                                                    |                                |
| 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の考えを明確にするとともに、話の構成を工夫している。〔A(1)イ〕                | 自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成を工夫しながら説明するとともに、聞き手の反応にも意識を向けることができる。 | 自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成を工夫しながら説明できている。                 | 自分の考えをまとめたメモに沿って話すよう促す。        |
| <b>3 主体的に学習に取り組む態度</b>                                                            |                                                          |                                                    |                                |
| 文章の内容を踏まえ、積極的に具体的事例などを用いて考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。                           | 課題に沿って、積極的に例を挙げたり補足説明をしたりしながら話し合いに参加し、自分の考えを深めようとしている。   | 課題に沿って、例を挙げたり補足説明をしたりしながら話し合いに参加し、自分の考えを深めようとしている。 | 周囲の考えを参考にしながら話し合いに参加するように助言する。 |